

宮城県委託「令和8年度 新卒者等未経験者及び中堅層向けデジタル人材育成事業」

2026年度 新卒者等 IT 実務未経験者向け研修（対象：新卒・中途）ご案内

（一社）宮城県情報サービス産業協会（MISA：ミサ）では、宮城県から委託を受け新卒者等のIT分野への就職促進を主な目的とした研修を実施しますのでご案内申し上げます。

■期 間：2026年4月2日（木）～6月26日（金）（全52日間／内自習2日間）

■受講対象：2026年度入社の新入社員など（MISA会員の有無は問わず）

※新卒者だけでなく、既に勤務または勤務予定の中途／第2新卒採用者も受講対象となります。

■実施する研修：下記（1）、（2）の2コース（定員各20名程度・新卒／中途共に対象）

（1）実務基礎コース

対 象：十分なプログラミング経験のある方（スキルチェックテストにより事前確認）

会 場：オンライン主体（一部日程のみ仙台市中心部で会場開催）

（2）技術基礎コース

対 象：プログラミング未経験者または経験の少ない方（スキルチェックテストにより事前確認）

会 場：最初の「コンピューター基礎（4/17（金）まで）」は会場での受講がメイン

その後はオンライン主体（一部日程のみ仙台市中心部で会場開催）

✧ （1）と（2）のコース分けは事前のスキルチェックテスト（原則必須）により行います

⇒ 申込段階における企業側でのコース選択制ではありません。情報系出身か否かではなく、スキルチェックによる純粋なプログラミングの習熟度でコース分けを行います。

✧ 科目単位での一部受講は不可（各研修共に通じての受講が条件）

✧ （1）（2）合同開催の日程も多数あり。「システム開発実践基礎（PBL）」は完全に合同で実施。

✧ 1社からの受講人数の制限はなし、但しあまりに多い場合は調整させていただく場合あり。

■企業としての参加要件：宮城県内に拠点を有し事業を展開している企業であること

※本社の所在地、企業規模、実際の受講者の勤務（予定）地は問いません

※IT企業だけでなく情報システム部門等を有するITユーザー企業も対象となります

■受講料：無料（宮城県委託事業のため） 但し市販本テキスト代は各社負担

■お申込み：

別紙申込書によりMISA事務局宛にe-mailでお申込みください（申込締切は1/19（月）とします）

⇒申込多数の際は早めに締め切る場合もあります。定員に余裕がある場合のみ二次募集を行います。

⇒事前スキルチェックについては申込締切後1月末頃を目処に各企業にご案内し原則として3月上旬までに各企業において受講予定者に対し実施いただきます（テストはオンライン上のCBTで実施）

✧ 1社からの複数名以上の申込については全体枠の中で調整させていただく場合があります。

✧ 申込受付は原則として先着順とします。事前予約時点で定員を上回る場合は改めての募集は行いません。

✧ 採用継続中などで受講者名が決まらない「人数枠確保だけの申込」は不可（受理できません）

⇒但し1次募集の段階で1名以上の「受講者を決めた申込」を受理した企業に限り、その後追加での採用が決まった場合は、申込締切や定員充足に係わらず追加申込の受付を柔軟に対応する用意があります。

<お申込み・お問合せ先>

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会（MISA） 事務局

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台ビル5F

TEL：022-217-3023 E-mail：misa@misa.or.jp

本研修の目的と特徴

■研修の目的

- ・ 本研修は県内の特に中小の IT 企業等（情報システム部門等を有する IT ユーザー企業を含む）が安心して人材採用ができる人材育成プログラムを提供することにより、県内企業の IT 分野への就職促進を図ることを目的としています。県内企業に新たに採用された IT 人材を主な受講対象とし、開発現場が求める実務基礎素養の育成と底上げを図ります。

■研修の特徴

- ・ 現場の OJT に配属できるレベルを到達目標とし学習内容を絞り込み、反復学習による定着を目指したカリキュラムとしています。研修受講後に技術者派遣（SES）や客先常駐などのプログラマー人材として働くことを想定した内容で構成している点も本研修の特色です。

本研修の利用・受講条件

■オンライン環境は Zoom+Slack を利用します

- ・ オンライン受講に必要な場所・機材・回線、実習に必要な PC は各企業で準備いただきます。
- ・ オンライン開講日の受講場所は問いません（各会社内、ご自宅など共に可）
 - 双方の研修となりますので、各社の共用オフィス内からの受講は原則不可
 - 研修受講中は「画面 ON での参加」を必須とします（バーチャル背景の利用は可）
- ・ 研修では Zoom+Slack の他、ChatGPT や Google のサービスを使う予定（Google アカウントも必須）ですので、これらが利用できる環境を整えていただくことが必要になります。

■一部日程は仙台市中心部で集合研修により開催します（会場はお申込企業の方に別途通知）

- ・ 「ビジネス基礎素養」以外の集合研修開催時には PC を持参いただく必要がありますので、持ち出しできるようにしていただくことが必要になります。

■市販本テキストは各社調達、各社負担となります

【参考】市販本テキスト代（2025 年度実績） 合計 約 20,000 円／人

※市販本テキストの絶版、価格改訂その他の理由でテキストを変更する可能性があります。

※市販本テキストは 3 月初旬頃に最終確定し受講各者に通知させていただく予定です。

■宮城県委託事業としての研修終了後の追跡調査への協力が本研修利用の条件となります

- ・ 本研修は 宮城県の施策に基づく委託事業であり成果指標は「研修受講後の定着」にあります。
- ・ 研修受講年の秋以降に実施する「受講企業向け追跡調査」（当協会が実施）、研修受講の翌年度以降 3 か年にわたって行う「翌年以降 3 力年の定着状況追跡調査」（宮城県の担当部門が実施）にご協力いただくことが本研修利用の条件です。
- ・ 追跡調査は基本的に「メールで定着状況等を報告いただくのみ」ですので、それ自体に手間のかかるものではありません。

MISA 会員内外の幅広い企業への新人研修受講の機会を提供するため、「令和 8 年度 MISA 新入社員研修（MISA 人財委員会主催）」にお申込済みの受講者の本研修への振替申込はできません。

新卒者等 IT 実務未経験者向け研修・研修概要

対象	県内に事業拠点のある IT 企業等（情報システム部門等を有する IT ユーザー企業を含む）に新たに採用された方（中途・第 2 新卒可）
事業目的	新卒者、未就労者等の IT 業界への就業促進（宮城県の施策に基づく委託事業） ⇒本研修は“高度な SE 人材育成”を狙いとした「MISA 認定職業訓練新人研修（人財委員会主催）」や民間の新人研修のような「研修サービス」ではありません。 県内 IT 企業に新たに採用された方の IT 人材としての基礎素養の底上げと主に地域中小 IT 企業への定着促進を狙いとした事業です。
総日数	総研修日数：52日間（内自習日2日間）
一部受講	不可（“ビジネス基礎のみ”などの選択受講はできません）
育成人材像	現場の OJT に円滑に入ることに特化した底上げ（プログラマー育成）
研修開催形式	オンライン主体（→コロナ収束の有無を問わず、業界全体としてオンライン業務が増えていることを鑑み、オンラインでの仕事に慣れることを重視） 要所要所で集合研修も交え、オンラインとの使い分けも体得
各個別カリキュラム毎の特徴	
ビジネス基礎	3日間（重視しつつ最低限）、「マナー」、「職場でのコミュニケーション」、プログラミングに不可欠な「論理思考」に絞った内容
システム開発の実務基礎	C 言語で文法に慣れてから Java へつなげる（反復学習と定着） ⇒ここで学んだ Web 系や DB 技術はシステム開発実践で利用 AI の活用も積極的に行い、プログラミングの効果的な自学自習につなげます。 ※技術基礎コースのみ “システム開発実務基礎” の最初の期間（4/17（金）まで）は習熟期間と位置づけ、対面による集合研修をメインとし開催
Web アプリケーション開発	Java／Web アプリ開発について、基礎理論を説明しながら講義と演習の反復を通じ学習（オブジェクト指向の概念とプログラミングの定着を重視した反復） 【実務基礎コース】前半は Java 言語、後半はサーバーサイド Java を学習 【技術基礎コース】Java プログラミングの基礎の定着を主眼とする (サーバーサイド Java や DB 連携型の Web アプリケーション開発までは行わない)
システム開発実践基礎（PBL）	Web アプリケーション開発をテーマとしたプロジェクト型学習（PBL）を実践 ⇒“顧客ヒアリング”“プロジェクトマネジメント”などの SE 育成の高度な内容は含まない。上流から下流までの開発工程全体の体験をしつつ、開発工程の中での PG としての自らの立ち位置の理解に主眼を置いた個人／グループ演習
その他	技術者派遣（SES）や客先常駐で働くことを想定した派遣法やセキュリティなど、現場配属以後に必要となる実務周辺知識が含まれる。
講師	前半：教育系講師（“教える”を重視）/後半：現役 SE 講師（“自ら学ぶ”を重視） ⇒特に最後の総仕上げとなるシステム開発実践基礎（PBL）は企業における OJT のように複数名以上の講師による「チームティーチング」で対応します

実務基礎コース（プログラミング経験者等向け） 計画カリキュラム

科目名	内容	日程	テキスト(※)
① ビジネス基礎素養コース			4/2(水)～6(月) 3日間
ビジネス基盤養成 【集合】 ＜合同開催＞	基礎的なマナー・電話応対・名刺交換、報連相、論理思考など	4/2(木)～6(月) (3日間)	講師独自資料 (紙で配布)
② システム開発の実務基礎コース			4/7(火)～22(水) 12日間
IT システム基礎 I 【集合】 ＜合同開催＞	・AI エディタ活用 (VS Code、Copilot など)	4/7(火) (1日間)	講師独自資料
C 言語によるプログラミング基礎 【オンライン】	Java を円滑に学習するまでの基盤技術として、C 言語を習得しながらプログラミングの基礎を学習	4/8(水)～10(金) (3日間)	★スッキリわかる C 言語入門(2,970 円税込)
データベースと SQL 基礎 【オンライン】	MySQL による DB 操作の基本を学習	4/13(月)～15(水) (3日間)	★スッキリわかる SQL 入門(3,080 円税込)
Web 系技術基礎 【オンライン】	フロントエンド技術として CSS／Javascript を学習。学んだ技術によるホームページ作成発表も実施	4/16(木)～22(水) (5日間)	★HTML & CSS デザイン入門講座(2,585 円税込) ★1 冊で身につく JavaScript 入門 (2,794 円税込)
③ Web アプリケーション開発(基礎)コース			4/23(木)～6/5(金) 22日間
※GW 期間の平日(4/27(月)～28(火)、30(木)～5/1(金)、5/7(木)～8(金))は休講			
Java プログラミング 【オンライン】	Java 言語プログラミングを学習	4/23(木)～24(金) 5/11(月)～14(木) 5/18(月) (7日間)	★スッキリわかる Java 入門(2,970 円税込)
IT システム基礎 II 【集合】 ＜合同開催＞	Git(ソフトウェアのバージョン管理)を学習	5/15(金) (1日間)	講師独自資料
Web アプリケーション開発基礎 【オンライン】	サーブレット／JSP による Web プログラミングを学習	5/19(火)～27(水) 6/1(月) (8日間) ※19(火)のみ集合 (開発環境の設定)	★スッキリわかるサーブレット&JSP 入門(3,300 円税込)
IT システム基礎 III 【集合】 ＜合同開催＞	セキュリティ、個人情報保護、派遣法、著作権法などについて学習	5/28(木)午後 (0.5 日間)	講師独自資料
コミュニケーション 【集合】 ＜合同開催＞	これまでの気づきと振り返り ・5/28 午前と 29 午前は資料作成 ・5/29(金)午後はプレゼンテーション (企業担当者はオンライン参観)	5/28(木)午前 5/29(金) (1.5 日間)	運営:MISA 事務局 (プレゼンについては各研修講師陣をゲスト講師として招聘)

IT システム基礎Ⅳ 【集合】 <合同開催>	オブジェクト指向型言語での開発に必要な UML とシーケンス図を学習	6/2(火) (1日間)	講師独自資料
DB 連携 【オンライン】	JDBC による DB 連携を学習	6/3(水)～5(金) (3日間)	★スッキリわかるサーブレット&JSP 入門
④ システム開発実践(基礎)コース	6/8(月)～26(金)	13 日間+自習 2 日間	15 日間
システム開発実践基礎(模擬演習) 【オンライン】 + 【集合】 <合同開催>	これまで学んだ内容を用い、詳細設計・工程表に基づく Web システムの製造・テストを実施。開発はモジュール／個人単位に細分化を行い、個人の技術向上とチームでの円滑な結合テストの両立を図ります。 ・期間中、2 日間を講師不在の自習日(グループワーク演習日)とします(講師都合や進捗も勘案し設定) ・6/26(金)午後は成果発表会を開催(企業担当者はオンライン参観)	6/8(月)～6/26(金) 【集合研修予定日程】 ◆6/8(月)～9(火)の要件定義 ◆6/19(金)の中間レビュー ◆6/26(金)成果発表	★ソフトウェア・エンジニアリングの新人研修(2,200 円税込)

(※) テキストは 2025 年度の情報系出身者向けコースで使用したものをお参考まで掲載しております。

<合同開催>は実務基礎／技術基礎の合同で開催する日程です。

技術基礎コース（プログラミング未経験者等向け） 計画カリキュラム

科目名	内容	日程	テキスト(※)
① ビジネス基礎素養コース		4/2(水)～4(金) 3 日間	
ビジネス基盤養成 【集合】 <合同開催>	基礎的なマナー・電話応対・名刺交換、報連相、論理思考など	4/2(木)～6(月) (3 日間)	講師独自資料 (紙で配布)
② システム開発の実務基礎コース		4/7(火)～5/14(木) 18 日間	
IT システム基礎 I 【集合】 <合同開催>	・AI エディタ活用 (VS Code、Copilot など)	4/7(火) (1日間)	講師独自資料
コンピューターとアルゴリズム 【集合】【オンライン】	・コンピュータリテラシー ・アルゴリズム	4/8(水)～10(金) (3日間) ※4/8(水)のみ集合	講師独自資料
AI エディタによるプログラミング基礎 【集合】	AI エディタ／AI エージェントによる AI 駆動型開発を体験しプログラミングの基礎や仕組みを理解する	4/13(月)～15(水)	講師独自資料
C 言語によるプログラミング基礎	Java を円滑に学習する上での基礎技術として、C 言語を習得しながらプ	4/16(木)～21(火) (4日間)	★スッキリわかる C 言語入門(2,970 円税込)

【集合】【オンライン】	プログラミングの基礎を学習	※4/16(木)～17(金) は集合	
データベースと SQL 基礎 【オンライン】	MySQL による DB 操作の基本を学習	4/22(水)～24(金) (3日間)	★スッキリわかる SQL 入門(3,080 円税込)
Web 系技術基礎 【オンライン】【集合】	フロントエンド技術(HTML/CSS)を学習。自己紹介ページを作成。	5/11(月)～14(木) (4日間) ※5/14(木)のみ集合	★HTML&CSS デザイン入門講座 (2,585 円税込)
③ Web アプリケーション技術基礎コース 5/15(金)～6/5(金) 16日間			
IT システム基礎 II 【集合】 ＜合同開催＞	Git(ソフトウェアのバージョン管理)を学習	5/15(金) (1日間)	講師独自資料
Java プログラミング 【集合】【オンライン】	Java 言語プログラミングを学習 (クラス・継承まで)	5/18(月)～27(水)、 6/1(月) (9日間) ※18(月)のみ集合 (開発環境の設定)	★スッキリわかる Java 入門(2,970 円税込)
IT システム基礎 III 【集合】 ＜合同開催＞	セキュリティ、個人情報保護、派遣法、著作権法などについて学習	5/28(木)午後 (0.5 日間)	講師独自資料
コミュニケーション 【集合】 ＜合同開催＞	これまでの気づきと振り返り ・5/28 午前と 29 午前は資料作成 ・5/29(金)午後はプレゼンテーション (企業担当者はオンライン参観)	5/28(木)午前 5/29(金) (1.5 日間)	運営:MISA 事務局 (プレゼンについては各研修講師陣をゲスト講師として招聘)
IT システム基礎 IV 【集合】 ＜合同開催＞	オブジェクト指向型言語での開発に必要な UML とシーケンス図を学習	6/2(火) (1日間)	講師独自資料
プログラミング実践演習 【オンライン】	RPG などのテキストベースのオブジェクトプログラミングの実習を通じ、プログラミング技術の定着を図る。	6/3(水)～5(金) (3 日間)	講師独自資料
④ システム開発実践(基礎)コース 6/8(月)～26(金) 13 日間 + 自習 2 日間 15 日間			
システム開発実践基礎(模擬演習) 【オンライン】 + 【集合】 ＜合同開催＞	これまで学んだ内容を用い、詳細設計・工程表に基づく Web システムの製造・テストを実施。開発はモジュール／個人単位に細分化を行い、個人の技術向上とチームでの円滑な結合テストの両立を図ります。 (その他“実務基礎コース”と共通)	6/8(月)～6/26(金) 【集合研修予定日程】 ◆6/8(月)～9(火)の要件定義 ◆6/19(金)の中間レビュー ◆6/26(金)成果発表	★ソフトウェア・エンジニアリングの新人研修(2,200 円税込)

(※) テキストは 2025 年度の文系・非情報系出身者向けコースで使用したものを参考まで掲載しております。

＜合同開催＞は実務基礎／技術基礎の合同で開催する日程です。

集合研修の予定日程（区分けのない日程は2つのコース合同開催）

テーマ	実務基礎コース	技術基礎コース
ビジネス基盤養成	4/2（木）～3（金）、4/6（月）	3日間
ITシステム基礎Ⅰ（AIエディタ活用）	4/7（火）	1日間
コンピューターとアルゴリズム		4/8（水） 1日間 ※4/9（木）～10（金）はオンライン
AIエディタによるプログラミング基礎		4/13（月）～15（水） 3日間
C言語によるプログラミング基礎		4/16（木）～17（金） 2日間 ※4/20（月）～21（火）はオンライン
Web系技術基礎		5/14（木）（Webページ成果発表） ※5/11（月）～13（水）はオンライン
ITシステム基礎Ⅱ（Git）	5/15（金）	1日間
Java言語プログラミング		5/18（月）（環境構築） ※5/17（火）以降はオンライン
サーバーサイドJava	5/19（火）（環境構築） ※5/20（水）以降はオンライン	
ITシステム基礎Ⅲ（派遣法とセキュリティ）		5/28（木）午後
コミュニケーション（振り返り）		5/28（木）午前 及び 5/29（金）
ITシステム基礎Ⅳ（UML）		6/2（火）
システム開発実践基礎（模擬演習）	6/8（月）～9（火）（要件定義）、6/19（金）（中間レビュー） 6/26（金）（成果発表会） ※上記以外の日程も合同でオンライン開催 ※オンライン開催日の内で自習日を2日間設定予定 (研修を進めていく中で講師都合や進捗を見て設定)	

＜“実務基礎コース”と“技術基礎コース”的違い＞

- ・ IT実務基礎素養育成という研修の基本方針や到達目標自体は両コース共通です。
- ・ “技術基礎コース”はJavaプログラミング応用やサーバーサイドJavaの内容を割愛した上で、経験者と未経験者の差が出やすいコーディングの中にAI駆動型ツールを活用していくことで無理なく学べる環境を形成しています。プログラミングの基礎技術の定着を重視したカリキュラム構成となっております。

＜予定講師＞

- ・ 杉山経営研究所（仙台市）（ビジネス基盤養成）
- ・ 合同会社 PolarTech（仙台市）（Java言語までの前半研修）
- ・ 有限会社ノヴァトレード（東京都）（サーバーサイドJava以降／システム開発実践以降の後半研修）
- ・ (株)アルファビジョン（仙台市）（ITシステム基礎Ⅲ（派遣法とセキュリティ））

※研修期間中を通じ、「Slack」を用いた教材や日報の共有、演習情報の共有を行います。

※各企業ご担当者の参観はオンラインで実施する予定です。

※ビジネス基盤養成を除く各コースの集合研修開催時には、演習用PCを受講者の皆様にご持参いただきます。

- ・ 必要な環境は研修の中で都度インストール等を行うためインストールが許可されていることが必須
- ・ Microsoft Officeは必須ではありません（Office互換ソフトやGoogleなどのクラウド利用でも可）

2026年度新卒者等未経験者向け研修 開催計画：オンライン開催+オフライン(集合開催)

4月 経験者 未経験者		5月 経験者 未経験者		6月 経験者 未経験者	
1 水		1 金		1 月 サーバーサイド Java(クラス・継承・オブジェクト指向)	
2 木	ビジネス基盤養成★	2 土		2 火 UML★	
3 金	ビジネス基盤養成★	3 日		3 水 JDBC プログラミング実践演習	
4 土		4 月		4 木 JDBC プログラミング実践演習	
5 日		5 火		5 金 JDBC プログラミング実践演習	
6 月	ビジネス基盤養成★	6 水		6 土	
7 火	ITシステム基礎/AIエディタ活用 (VSCode+Copilot)★	7 木		7 日	
8 水	C言語 アルゴリズム★	8 金		8 月 システム開発★	
9 木	C言語 アルゴリズム	9 土		9 火 システム開発★	
10 金	C言語 アルゴリズム	10 日		10 水 システム開発	
11 土		11 月 Java言語	HTML/CSS	11 木 システム開発	
12 日		12 火 Java言語	HTML/CSS	12 金 システム開発	
13 月	DB AI駆動型開発★	13 水 Java言語	HTML/CSS	13 土	
14 火	DB AI駆動型開発★	14 木 Java言語	Webページ成果発表★	14 日	
15 水	DB AI駆動型開発★	15 金 Git★		15 月 システム開発(自習)	
16 木	CSS/JavaScript C言語★	16 土		16 火 システム開発	
17 金	CSS/JavaScript C言語★	17 日		17 水 システム開発	
18 土		18 月 Java言語	Java言語(環境構築)★	18 木 システム開発	
19 日		19 火 環境設定★	Java言語(文法)	19 金 システム開発★	
20 月	CSS/JavaScript C言語	20 水 サーバーサイド Java	Java言語(文法)	20 土	
21 火	CSS/JavaScript C言語	21 木 サーバーサイド Java	Java言語(文法)	21 日	
22 水	Webページ成果発表	22 金 サーバーサイド Java	Java言語(文法)	22 月 システム開発(自習)	
23 木	Java言語	23 土		23 火 システム開発	
24 金	Java言語	24 日		24 水 システム開発	
25 土		25 月 サーバーサイド Java	Java言語(文法)	25 木 システム開発	
26 日		26 火 サーバーサイド Java	Java言語(文法)	26 金 システム開発・成果発表会★	
27 月		27 水 サーバーサイド Java	Java(クラス・継承・オブジェクト指向)	27 土	
28 火		28 木 プレゼン資料作成／派遣法セキュリティ★		28 日	
29 水		29 金 コミュニケーション(気づきと振り返り)★		29 月	
30 木		30 土		30 火	
		31 日			

★:集合研修 (★以外の無印日程はオンライン開催)

令和8年度の計画カリキュラム

新卒者等実務基礎研修(プログラミング経験者コース)

研修科目	R7	R8	増減	備考
IT業界人としてのヒューマンスキル養成	3	3	-	R7はシステム開発実習の最終日に実施していた「派遣法とセキュリティ」を別出しとし、Webアプリケーション開発の中での実施に変更
システム開発の実務基礎	12	12	-	
Webアプリケーション開発(基礎)	21	22	+1	
システム開発実践(基礎)	14	13	▲1	
合計日数	50	50		

新卒者等技術基礎研修(プログラミング未経験者コース)

研修科目	R7	R8	増減	備考
IT業界人としてのヒューマンスキル養成	3	3	-	経験者と同じ変更に加え、Javaプログラミングのボリュームを減らし、AI駆動開発の内容を実務基礎に盛り込むことで充実化
システム開発の実務基礎	14	18	+4	
Webアプリケーション開発(基礎)	19	16	▲3	
システム開発実践(基礎)	14	13	▲1	
合計日数	50	50		

※最終日を金曜日にしたいため、システム開発実践(基礎)

に自習日を2日間設定

研修開催日数としては52日(自習日は講師対応なし)

※自習日の日程は確定ではありません。講師都合や進捗状況等により

システム開発実践(PBL)期間の中で別途日程を決定いたします。